

第198回

# 定時株主総会

2020年6月23日

古河電気工業株式会社

## 第1号

**第198期 事業報告、連結計算書類ならびに  
会計監査人および監査役会の連結計算書類  
の監査結果報告の件**

## 第2号

**第198期 計算書類報告の件**

# 当期における主な取組みとその成果

中期経営計画

「*Furukawa G Plan 2020*」

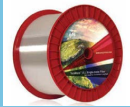
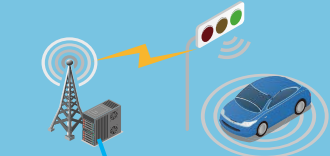
インフラおよび自動車分野の強化

# 当社グループの取組み

## 情報通信分野

5G 無線エリア

モバイルフロントホール



都市間80km以上

コアネットワーク



Pump

ITLA

基地局間~40km

メトロネットワーク



多心高密度  
(省スペース)  
低曲げ損失・  
低接続損失

データセンタ



接続端面

モバイルバックホール



- ▶ 光ファイバ・  
光ファイバケーブルの  
需給バランスの悪化  
による価格下落
- ▶ 高付加価値製品の拡販
- ▶ グローバル最適地生産に  
よるコスト競争力向上の  
取組み

## エネルギー分野



- ▶ 国内の超高圧地中線
- ▶ 再生可能エネルギー分野の海底線・地中線
- ▶ アジアにおける海底線



**注力分野**

## エネルギー分野



▶ 超高圧地中線の需要を  
着実に取り込む



▶ アジアでの海底線案件等  
の受注実績を積み重ねる

## エネルギー分野



- ▶ 海底線の生産に対応するための設備増強等も計画どおり実行

# インフラ分野の強化を推進



## 自動車分野



- ▶ 自動車生産台数が減少し、自動車部品の販売は低迷
- ▶ ワイヤハーネスの販売拡大に向けた設備投資決定

# グローバルでの事業展開

## グループ変革本部設置



- ▶ 当社グループ全体の  
収益力向上  
組織実行力強化の施策  
に取り組む

成果も徐々に表れ始める

# 当社グループの取組み

## 当期の業績

### 情報通信ソリューション事業

- ▶ 需給バランスの悪化による光ファイバ等の価格下落
- ▶ 米国子会社の光ファイバケーブルの生産性改善に時間を要する

### 電装エレクトロニクス材料事業 機能製品事業

- ▶ エレクトロニクス関連市場の市況低迷による売上の伸び悩み

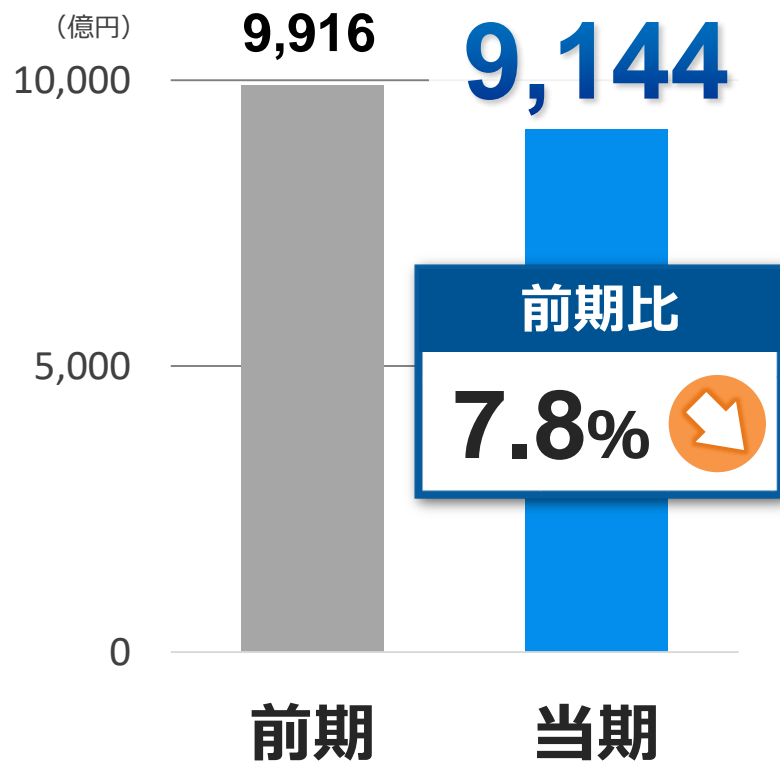
**グループ全体の売上減少**

## 当期の業績

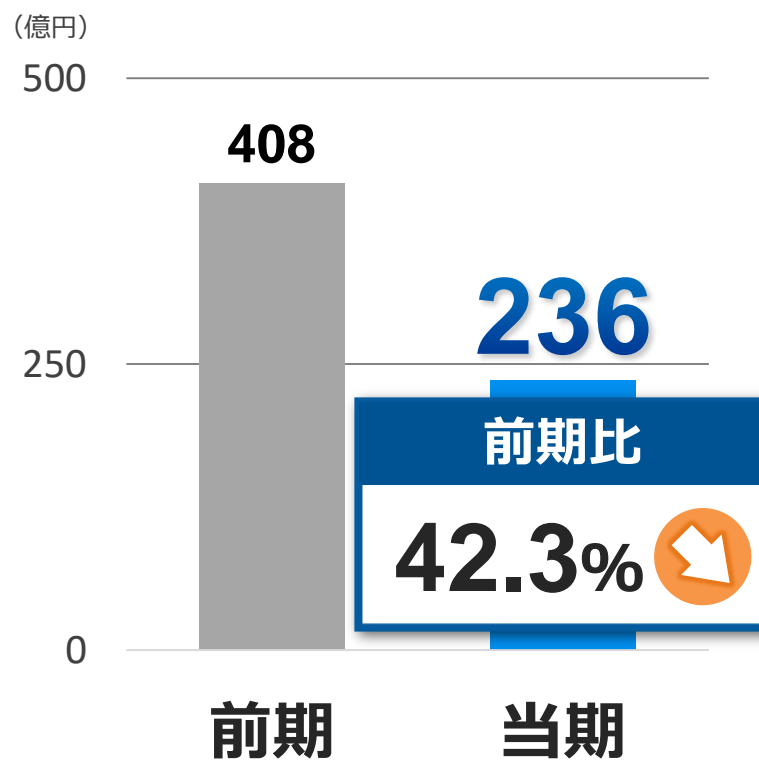
- ▶ エネルギーインフラ事業の損益が改善し黒字転換
- ▶ 情報通信ソリューション事業を中心に  
コスト低減の取組みの成果はあったものの、  
市況低迷の影響が大きい
- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大による世界経済への影響

減益

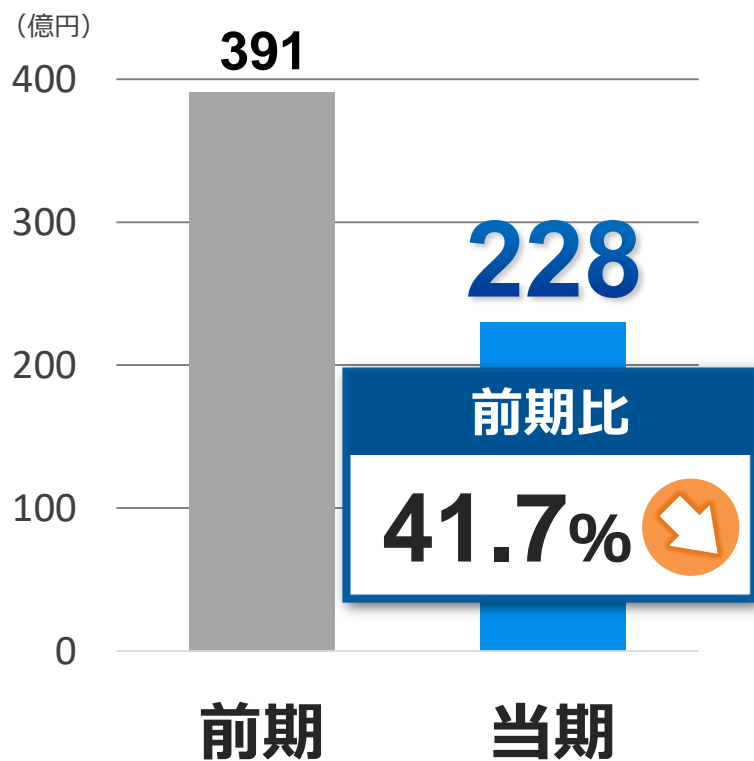
## 連結売上高



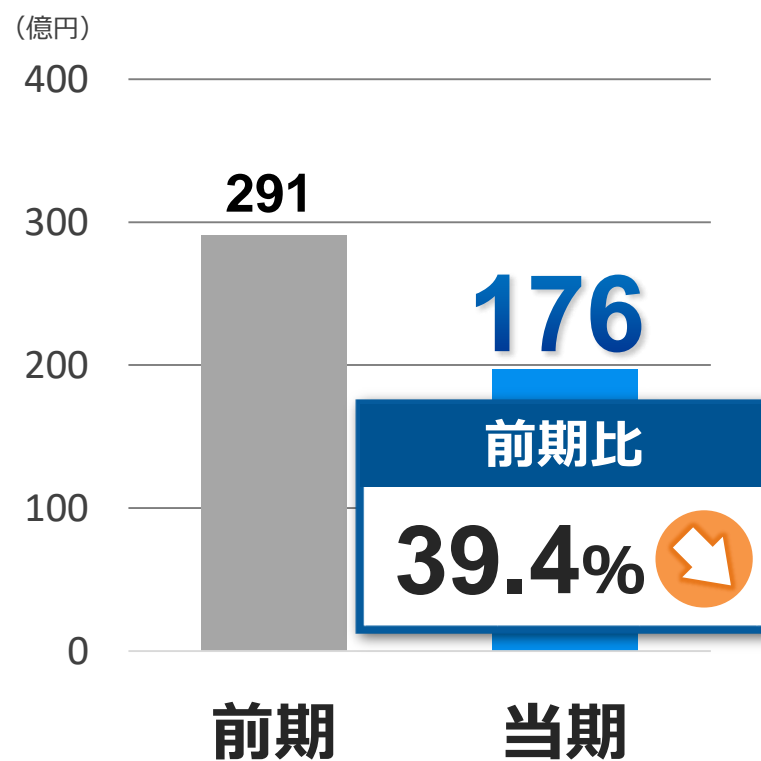
## 連結営業利益



## 連結経常利益



## 親会社株主に帰属する 当期純利益



## 連結および単体の 貸借対照表および損益計算書

招集ご通知48ページから51ページに記載のとおり

# 株主資本等変動計算書および注記表

## 連結および単体の 株主資本等変動計算書および注記表

当社ホームページに掲載



# 対処すべき課題



## ▶ 新型コロナウイルスの 感染拡大

世界経済に  
非常に深刻な影響

- ▶ 感染拡大に  
収束の見込みは立たず  
当社グループへの影  
響を正確に見通すこ  
とは極めて困難な状  
況

# 対処すべき課題



## 緊急対応体制 立ち上げ

影響を最小限に  
抑えるべく対応



必要な対応策を  
迅速かつ柔軟に

中期経営計画

「*Furukawa G Plan 2020*」

# 対処すべき課題



経営計画

「G Plan 2020」  
▶ 事業の強化と変革

## インフラおよび自動車分野の強化

## 中期経営計画

# 「Furukawa G Plan 2020」

- ▶ 情報通信分野での世界的な光ファイバ等の需給環境の悪化
- ▶ 新型コロナウイルスの感染拡大

計画どおりの収益達成は非常に厳しい状況

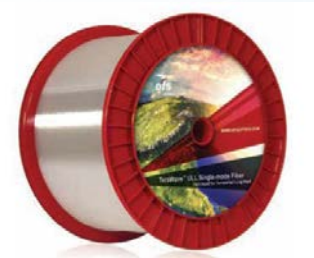
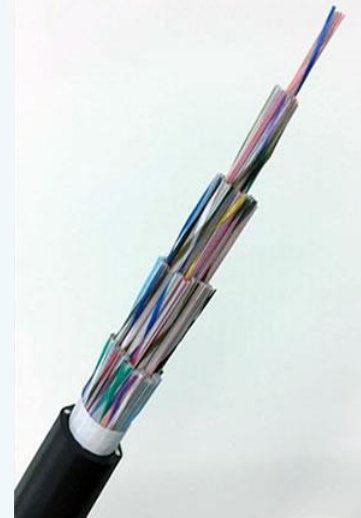
「ゆるぎない成長の実現」

# 対処すべき課題

「Furukawa G Plan 2020」

情報通信分野

- ▶ 抜本的なコスト競争力の強化を促進
- ▶ 高密度多心光ケーブル等の高付加価値製品の販売
- ▶ デジタルコヒーレント関連製品の次世代製品への転換促進



## 5Gの進展を背景とした事業拡大

# 対処すべき課題

「Furukawa G Plan 2020」

## エネルギー分野

- 国内の超高圧地中線
- 再生可能エネルギー分野での海底線および地中線
- アジアを中心とした海外の海底線

▶ 生産能力や施工能力の増強



- ▶ 海底線の要素技術開発
- ▶ 国際規格に対応した海底線の開発

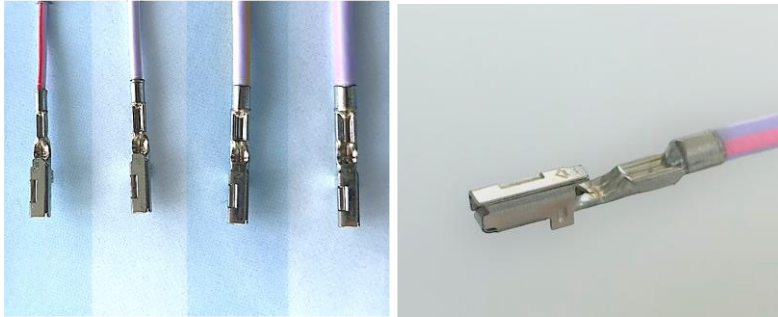
電力事業が成長していくための施策



# 対処すべき課題

「Furukawa G Plan 2020」

自動車分野



## CASE領域での成長

- ▶ 幅広い事業分野で  
培ってきた  
多様な技術を融合

生産能力増強のための  
設備投資

独自の価値提供

## 「Furukawa G Plan 2020」



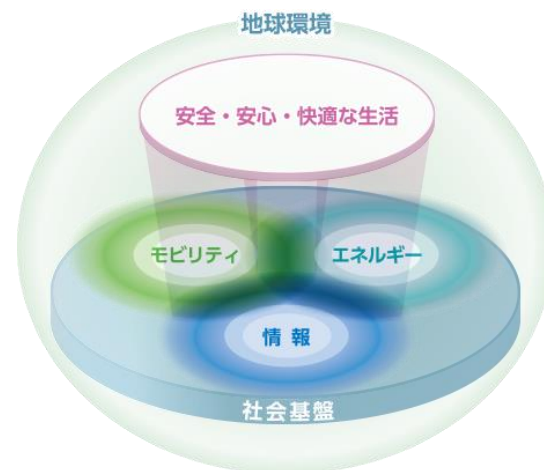
- ▶ 事業資産営業利益率を指標に低採算事業・製品群の改善
- ▶ 事業ポートフォリオの見直し
- ▶ 経営基盤の強化を図るための全社的な変革活動を継続

## 「Furukawa G Plan 2020」

- ▶ 5G社会に向けた次世代製品・技術の開発に引き続き注力

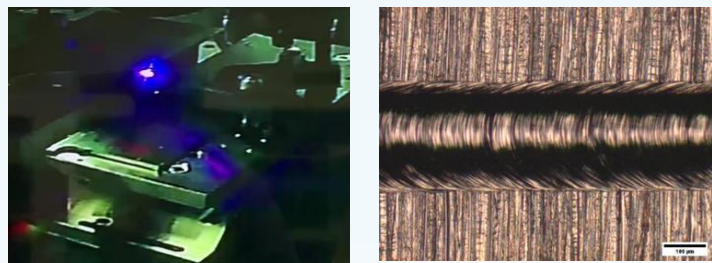


- ▶ 「古河電工グループビジョン2030」の実現に向けた取組みの強化



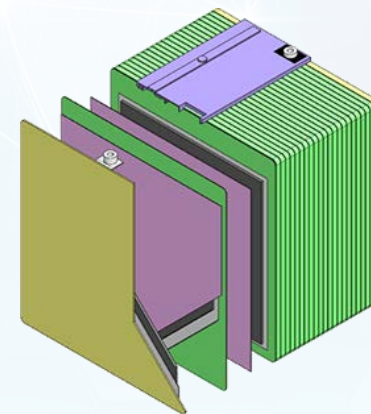
## 「Furukawa G Plan 2020」

- ▶ 電動自動車の製造効率化および省人化に貢献するレーザー加工ソリューション



(注) 純銅スパッタレス・レーザー加工ソリューション

- ▶ 再生可能エネルギーの効率的活用にご貢献するバイポーラ型蓄電池



(注) 本製品は試作段階のため、仕様や外観イメージは変更になる場合があります。

# 新事業の開拓

# ESG経営の強化

## ESG経営の強化

### 古河電工グループ ビジョン2030

#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- ▶ 中長期的な企業価値向上
- ▶ 社会的価値向上

# ESG経営の強化に取り組む

# 対処すべき課題

## ESG経営の強化

### 環境への取組み

**重要課題** 気候変動が事業にもたらすリスクおよび機会

**TCFD** | 気候関連財務情報開示タスクフォース

- ▶ ステークホルダーの皆様との信頼関係強化
- ▶ 企業価値の向上につなげる

**温室効果ガス 2017年度比26%削減**



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

# 対処すべき課題

## ESG経営の強化

### 社会への取組み

「古河電工グループ人権方針」を策定

### 経営理念

多様な人材を活かし、創造的で活力あふれる  
企業グループを目指します

「古河電工グループビジョン2030」達成に向け

多様な働き方を尊重した環境整備



## ESG経営の強化

### ガバナンスへの取組み

- ▶ 持続的な成長と中長期的な企業価値向上
- ▶ コーポレートガバナンスの強化に注力

### 社外取締役の独立性強化

### ダイバーシティの観点

## 取締役会の構成見直し

## ESG経営の強化

### ガバナンスへの取組み

- ▶ 取締役会の監督機能の強化
- ▶ 多様性のある取締役会の構成

## 新型コロナウイルスの感染拡大への対処

中期経営計画 「*Furukawa G Plan 2020*」

## ESG経営の強化

## 企業価値の向上